

# 議会だより

## 12月市議会から

平成16年度12月補正予算  
1億4720万円余を追加

9月補正予算以降、新たに必要となった事業などに一般会計で1億5580万円余を追加し、特別会計4会計で860万円を減額しました。歳出の補正など主な内容は次のとおりです。

◆一般会計（1億5580万円余の追加）  
人件費●育児休暇制度、通勤手当の改定及び調整などによる減額／1億6650万円余の減  
議会費●委員会会議録の翻訳に係る役務費、委託料の増額／72万円増  
総務費●電子入札システム機器購入費の追加／1100万円

民生費●ガイドヘルパー派遣希望者の増加に伴う派遣報償費の増額／150万円増、精神障害者小規模通所授産施設ぶなの木工房への運営補助金の増額／150万円増、身体障害者の居宅生活支援費増などに伴う扶助費の増額／3480万円増、次世代育成支援行動計画策定委員に係る報酬・報償費の増額／33万円増、私立保育園耐震補強工事補助金の増額／490万円増  
衛生費●基本健康診査や人間ドックなどの受診者増に伴う委託料の増額／3000万円増、北部リサイクルステーション移設工事費の追加／430万円  
農林水産業費●営農集団促進機械導入事業補助金の追加／100万円  
土木費●道路新設改良用地購入費

の増額／4950万円増、松くい虫対策補助金の増額／70万円増、名鉄西尾線碧海桜井駅付近鉄道高架事業関連用地購入費の追加／1億5760万円余  
消防費●民間木造住宅の耐震改修費補助申し込みの増加に伴う補助金の増額／1200万円増  
教育費●西鹿乗地区における遺跡発掘調査委託料の追加／760万円余  
債務負担行為●内部事務システム（財務会計システム）開発／1億3000万円、保健センター冷暖房設備更新／2300万円、工事平準化のための道路等整備／1億円、大池公園整備／1600万円、新設小学校建設／14億8000万円、桜井小学校移転関連用地取得／6億4000万円、自然教室等



移転改築をする桜井小学校

地取得は平成18年度、その他はいずれも平成17年度までの限度額）  
◆国民健康保険事業特別会計（390万円の追加）  
葬祭費の増額／700万円増

◆下水道事業特別会計（人件費の調整による600万円の減額）  
債務負担行為●桜井駅周辺土地地区画整理地区内の雨水幹線工事／4500万円（平成17年度までの限度額）  
◆安城北部土地地区画整理事業特別会計（人件費の調整による1000万円の減額）  
◆安城桜井駅周辺特定土地地区画整理事業特別会計（人件費の調整による350万円の増額）

◆児童クラブ育成料を改定  
本年4月からの児童クラブ開設時間の延長に伴い、市手数料条例を一部改正し、本年4月からの児童クラブ育成料を、月額5000円から5200円（8月は8600円）に改めました。

中高層集合住宅に直読式の水道メーターを設置  
市水道事業給水条例の一部を改正し、本年4月から、市の基準を満たしている場合、中高層集合住宅の各戸に市の水道メーターを設置し、各戸単位の検針、料金徴収業務ができるようにしました。

これによって、中高層集合住宅所有者などの負担の軽減を図ることが出来ます。

### 工事請負契約の締結

次の工事請負契約を締結することと決めました。  
▽市体育館改修・耐震補強主体工程／新田町地内の市体育館にエレベーター設置、1階玄関ホール・トイレ等床段差・誘導設備の改修

工事、耐震補強工事／契約金額1億8900万円

### 財産の取得

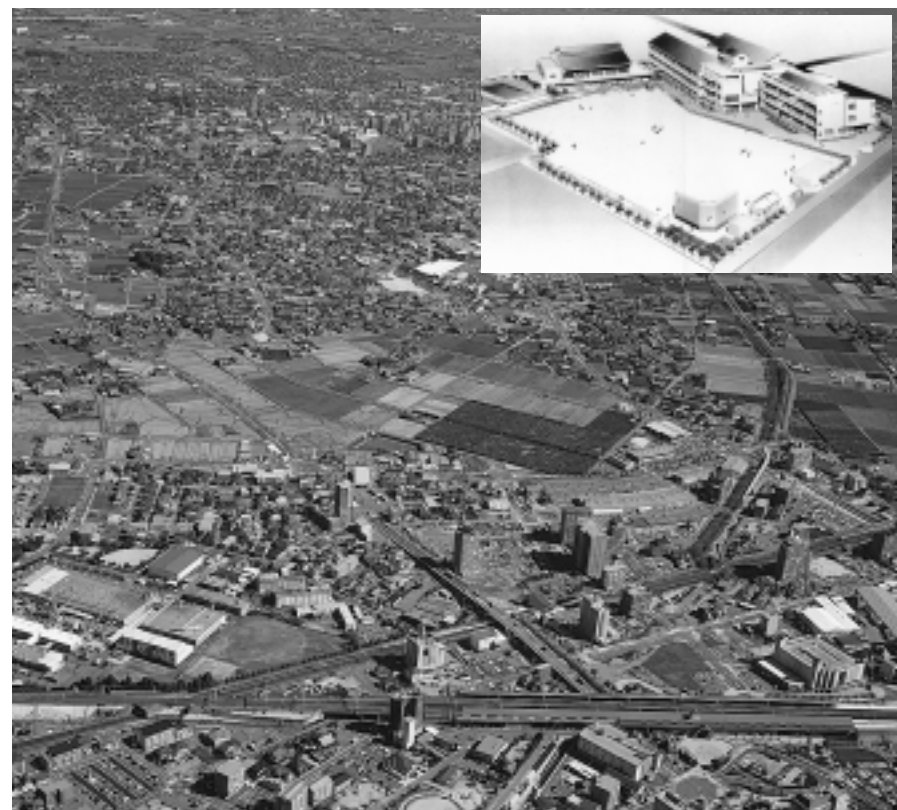
次の財産を、市土地開発公社から取得することと決めました。  
▽新設小学校用地として篠目町地内の土地1万5851平方メートル取得金額5億4630万円余

### 請願・陳情の審査結果

この議会に請願6件と陳情3件が提出されました。審査結果は次のとおりです。  
▽「教育基本法の改定ではなく、その理念の実現を求める意見書の採択を求める請願」／不採択  
▽「国の責任で30人以下学級の実現を求める意見書採択を求める請願」／不採択  
▽「介護保険の改善を求める請願」／不採択  
▽「子育て支援策の充実を求める請願」／不採択  
▽「改革」年金法の実施を中止し、すべての国民が安心して暮らせる年金制度の確立を求める請願（総務企画関係部分）／不採択  
▽「改革」年金法の実施を中止し、すべての国民が安心して暮らせる年金制度の確立を求める請願（経済福祉関係部分）／不採択  
▽「特別養護老人ホーム早期建設に関する陳情」／不採択  
▽「児童保育の充実を求める陳情」／不採択  
▽「子どもをタバコから守ろう!」『無煙世代育成をめざした早期無煙教育の充実』を求める陳情／不採択

### 北方領土返還要求に関する決議を可決

北方領土の早期返還要求に関する決議を全会一致で可決しました。



二本木小学校と作野小学校の大規模化に伴う新設小学校の完成予想図と予定地周辺

防  
災



一般質問の  
あらまし

## ■避難所の耐震対策は

**問** 本市には基幹避難所、一般避難所あわせて52か所の避難所があるが、そのうち耐震改修済みまたは改修不要のものは半数の26か所しかない。避難所の100%耐震化に向けた今後の改修計画を伺いたい。

**答** 避難所のうち小中学校については、校舎本体の耐震改修を優先し、平成18年度までに耐震診断がA判定、B判定となっている18校31棟の校舎の補強工事を行い、19年度には1校2棟の改築を行います。避難所としての体育館の補強は、その後に地域のバランスを考慮して実施する計画です。また、小中学校以外の避難所については、県の施設である高等学校の1校を除き、早急に補強を予定しています。

■防災ネットワークは

問 本市における災害時の支援体制ネットワーク構築はどの程度進んでいるか伺いたい。

答 防災協定を含めた支援体制のネットワークとして、行政間では「衣浦東部広域行政圏災害時相互応援協定」や「愛知県内広域消防相互支援応援協定」など相互応援協定を、医療関係では市内医師会と「災害時の医療救助に関する協定」などを、また民間とも食料品や生活必需品及び物資輸送車両の供給に関して協定を結び、支援・協力体制を作っています。また愛知県としては「全国都道府県における災害時の広域応援に関する協定」や中部9県1市による「災害応援に関する協定」が結ばれています。

大災害時には県外の自治体との協力体制は必要なものと考えられますので、単に災害協定を結ぶだけでは十分ではなく、日ごろからの市民交流が大切であり、国内の姉妹都市・友好都市のような市民交流をベースとした協力関係ができれば、より効果的な災害支援協力ができるものと考えます。

## ■災害時に対応できる人材の確保について

**問** 災害時に対応するためには人材の確保が必要となるが、どのような教育・訓練がされているか。

要があるため、工事期間から逆算して、平成17年の12月議会には工事協定締結議案の上程をし、平成18年度当初には工事に着手したいと考えています。

## ■電線類地中化整備事業は

**問** J R安城駅前から碧海信用金庫本店までの電線類地中化整備事業については、実現に向けて熱い議論を交わし、具体的な街路の計画も煮詰まってきたと聞いている。事業スケジュールはどうなっているか。

**答** 電線類地中化整備事業は、J  
R安城駅の駅前通りについて、商  
店街の活性化も図りつつ、単に電  
線の地中化のみの整備ではなく、  
駅前通りにふさわしいまちづくり  
の観点も視野に入れ、まちなみ景  
観、歩道の段差解消なども含めた  
整備計画を進めており、現在地元  
商店街の皆さんと協議をしている  
状況です。

スケジュール的には、関係者や  
占用者の意向を確認のうえ、今年  
度と来年度に工事の実施設計を進  
めながら国庫補助事業の採択を受  
け、平成18年度からおおむね2年  
間で整備をしたいと考えています  
また、工事手法についても地元商  
店街の各店の商売に影響のないよ  
うに、商店の皆さんと協議しなが  
ら検討していきたいと考えていま  
す。



鉄道立体交差事業が予定されている桜井駅周辺

**答** 現在、衣浦東部広域連合から防災派遣者として消防士1人を防災室に受け入れ、また安城市から愛知県防災局へ職員を1人派遣し

専門知識を有した人材の確保に努めています。さらにトップを対象とした危機管理トップセミナーの受講、担当者については被災地におけるボランティア活動や「あいち防災力レッジ」等各種研修や講習の受講などによって対応能力の育成を図っています。

## ■緊急メールシステムについて

**問** 新潟県中越地震ではライフラインが途絶し、有線の電話が使用不可能になる地域もあったが、その状況下でも携帯電話のメール機能はかなり有効であったと聞く。

しかし、一般のメール機能では大災害時に使用不可になる可能性もあり、緊急時に対応したメールシステムを整備すべきと思われるが市の考えを伺いたい。

**答** 現在民間各事業者が提供している緊急メールシステムは「特定接続サービス」を利用しており、一般のメールサービスに比べ接続及び遅延防止に効果があると聞いています。また、複数の情報伝達手段を使用することが有効であることから、現在、情報収集、情報発信、安否確認などができる緊急メールシステムを、当面は職員、議員、自主防災組織の代表者を対

福祉



## ■児童クラブの開設時間に対する考えは

**問** 児童クラブの開設時間を平日は終わりの15分、土曜日・長期休業日は始めの30分と終わりの15分拡大することであるが、児童クラブは小学生の保育園という性質から考えれば、開設時間は保育園の延長保育の時間朝7時15分から夜7時までと同程度にすべきである。市としては本来どのような姿が望ましいと考えているのか。

**答** 児童クラブの時間延長につきましては、平成16年9月に児童クラブ全保護者を対象にアンケートを実施し、その結果をふまえて開



放課後を楽しく過ごす桜林児童クラブの子どもたち

象に検討しています。



新潟中越地震の被害の状況

都市整備



■桜井駅付近の鉄道立体交差事業の進ちよく状況と今後の計画は

**問** 桜井駅周辺地区は、本市の南部地域の新たな拠点として位置付けられ、土地区画整理事業と鉄道立体交差事業があわせて進められている。中でも鉄道立体交差事業の早期の完成は沿線住民の交通安全の確保、災害に強いまちづくりにつながると思うが、進ちよく状況と今後の計画はどのようになっているかお聞かせ願いたい。

**答** 桜井駅周辺の鉄道立体交差事業については、市長選の公約で、

始時間を30分早めて午前8時から終了時間を15分遅らせて午後6時45分までにそれぞれ延長することとしました。ただし、将来の望ましい開設時間につきましては、保護者の皆さんの就労時間の推移や働き方の変化によって大きく変わるものですから、今後とも拡大の方向で検討する必要があると考えています。

## ■介護保険の見直しについて

**問** 国では17年度国会において介護保険制度の改正が予定されているが、市の計画について伺いたい

**答** 安城市においては国の介護保険制度の見直しにあわせ、第4次高齢者保健福祉計画を策定することとなりました。これは平成18年度から22年度までの5か年を計画年度とするものです。計画策定スケジュールとしては、17年1月に保健、医療、福祉などの関係者や学識経験者、公募市民を含めた被保険者代表から組織される「安城市高齢者保健福祉計画策定委員会」を設置し、介護保険制度の見直し状況に合わせ、本計画策定のために検討、審議しパブリックコメントを経て17年度末までに策定します。

なお、国の見直し策においては、介護予防の推進、認知症ケアの推進、地域ケア体制の整備を新たな課題として進めていく予定です。

■今後新設される特別養護老人ホームは

問 福釜町地内に建設が予定されている特別養護老人ホームの開年度及び施設規模などの詳細についてお聞かせ願いたい。

答 特別養護老人ホーム（特養）については予定されている概要については次のとおりです。鉄筋コンクリート造り5階建て、建築面積2281平方メートル、延床面積8351平方メートル。施設種別及び定員は、特養120人、短期入所20人、老人デイサービスセンター30人（標準型20人、認知症型10人）、生活支援ハウス10人。その他、在宅介護支援センター、居宅介護支援事務所、ヘルパーステーション、地域交流スペースを併設。

今後のスケジュールについては、17年度当初に国庫補助金等の交付決定がされた後、同年9月に着工、19年4月に開設の予定です。

特色としては、特養として市内初の小規模生活単位型指定介護老人福祉施設として、個室をはじめとした在宅に近い居住環境と、施設の居室をいくつかのグループに分け、それぞれを一つの生活単位（ユニット）とし、少人数による日常生活を通じてケアを行うユニットケアの採用があげられます。また社会的ニーズに対応するため認知症専用デイサービスや、高

齢者の一時的な居住先として利用する生活支援ハウスの併設もその特色の一つと考えています。

## 市民生活



■安城保育園移転と（仮称）地域交流センター建設について

問 大東町地内の市土地開発公社所有地に、安城保育園を移転し、（仮称）地域交流センターを建設すると聞くが、その2施設の関連について伺いたい。

答 保育園と地域交流施設は機能・利用者が異なるので建設計画を合同で実施する必要はないと考えます。しかし、同一敷地内であり、両施設を有効に連携させることで市民利用を高めることも期待できます。要望団体からも子育て支援や多目的集会所のできる部屋の共同利用など、様々な提案がありますので、両施設の建設計画を進めていく上で配慮していきたいと考えています。

■中部国際空港へのアクセスは

問 2月17日に中部国際空港が開港する。市民がＪＲ三河安城駅から中部国際空港へ行く場合、バスが便利と思われるが、運行の予定と市民への周知方法をお聞かせ願いたい。

答 三河安城駅から中部国際空港

## 委員会の活動状況

9月定例会閉会以降、12月定例会閉会までの各委員会の活動状況は次のとおりです。

＊総務企画常任委員会

11月26日●部会を開き、実施計画（平成17～19年度）と入札制度改革について説明を聞き、質疑をしました。

12月16日●第4回定例会で審査を託された請願1件と安城市一般会計補正予算の1議案を審査し、請願は不採択とし、議案は原案どおり可決しました。

＊経済福祉常任委員会

12月15日●第4回定例会で審査を託された請願3件・陳情2件と安城市一般会計補正予算など3議案を審査し、請願3件・陳情2件はいずれも不採択とし、議案はいずれも原案どおり可決しました。

引き続き部会を開き、榎前一般廃棄物最終処分場再生事業について説明を聞き、質疑をしました。

＊市民文教常任委員会



空港バスの発着所となる新幹線駅北口

への直行バスによるアクセスについては、知多バスが新規路線の認可申請を行い、運行していただけることとなりました。

その概要によりますと、三河安城駅を起点として高棚にバス停を新設し、高浜市、半田市を経由して空港までのルートを予定しています。所要時間は約1時間で、運行は午前6時から午後9時台まで毎時1本の1日往復あわせて27本、運賃は1400円を予定しています。多くの市民のみなさんにご利用いただけるように広報やMAPパークのチラシなどでPRしていきたいと考えています。

## 教育



■陸上競技場グラウンドの人工芝生化は

問 陸上競技場グラウンドのフイ

12月14日●第4回定例会で審査を託された請願2件・陳情1件と安城市一般会計補正予算など2議案を審査し、請願2件・陳情1件はいずれも不採択とし、議案はいずれも原案どおり可決しました。

引き続き部会を開き、新設小学校の設計概要と児童生徒の安全確保について説明を聞き、質疑をしました。

＊建設常任委員会

9月28日●部会を開き、油ヶ淵地区新規県営都市公園の区域について説明を聞き、質疑をしました。

＊議会運営委員会

11月10日～12日●大分県別府市、山口県防府市、広島県呉市を訪問し、一般質問の一問一答方式や議会運営について調査しました。

＊議会改革検討委員会

12月16日●第4回定例会最終日の議事運営について協議しました。

＊議会改革検討委員会

11月29日●諮問事項のうち、ファクスからパソコンへの切り替え、定例会の代表・一般質問の方式（対面方式、一問一答方式）について協議しました。

＊広域行政特別委員会

ールド内は天然芝だが、でこぼこで芝のない箇所も多く、プレーでの安全面においても心配な点が多々ある。そこで、天候などによるコンディションの変化が少なく、使用制限や保全費用が少なくて済む人工芝を採用する考えはないか。

答 現在の陸上競技場グラウンドは天然芝であり、平成16年度における養生期間や保全修繕などに伴う使用制限日数は年間155日間、維持保全費用は40万円余になります。人工芝にしていっても利用可能な施設にすれば、施設が効率的に利用されと考えられますし、市内の企業で最近人工芝に改修した施設もあります。そこで、市サッカー協会や陸上競技協会の意見をお聞きしながら、先進施設を調査し、良い点、悪い点、費用対効果などを調べて今後の対応を考えていきたいと思っています。

## 行財政



■今後の財政運営について

問 本市の財政状況は各指標で見た場合、15年度決算において、財政力指数は1・30、経常収支比率は76・7％、公債費比率は76％と各数値は良好な値を示しており、健全な財政運営をしていると言える。しかし近年、経常収支比率が

10月4日～6日●栃木県的那須地区広域行政事務組合（大田原市、那須塩原市、湯津上村、黒羽町、那須町）、千葉県の東葛中部地区総合開発事務組合（柏市、流山市、我孫子市、沼南町）及び西東京市を訪問し、一部事務組合設立の経緯や事業内容、広域処理のメリット及び合併の効果などについて調査しました。

＊市街地活性化対策特別委員会

10月4日～6日●高知市、徳島市、大阪府豊中市を訪問し、駅周辺整備、商業振興・商店街空き店舗対策及び地区整備事業の取り組みを調査しました。

＊行政改革特別委員会

10月5日～7日●佐賀市、岡山県倉敷市及び兵庫県小野市を訪問し、行政改革への取り組みを調査しました。



市街地活性化対策特別委員会のコミュニティ住宅視察の様子